



## 平成 30 年度第 2 回 JASDI フォーラム ビッグデータを活用した医薬品情報研究

医療ビッグデータは、医療の質の向上や効率化、医療・健康分野の研究開発などのための二次利用において大きな効果が期待されています。医薬品情報の分野においても、NDB や DPC データ、JADER、MID-NET をはじめとする多種多様なデータベースがあり、それらを用いた医薬品情報研究の報告も増えてきています。しかし、これらのデータベースの特徴を良く理解したうえで、研究目的に合った適切な解析手法や研究結果の解釈が求められます。そこで、本フォーラムでは、実際にビッグデータを活用した医薬品情報研究を行っている様々な立場の方をお招きし、研究成果の紹介や、ビッグデータを活用した医薬品情報研究の現状や課題について議論を行いたいと思います。

日 時:平成 30 年 11 月 17 日(土)13:30~16:55 (受付開始 13:00 から)

場 所:東京大学薬学系総合研究棟2階 講堂

<http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~kyoumuk/kodo-access.htm>

主 催:日本医薬品情報学会(JASDI)

〔プログラム〕(演題名は全て仮題です。)

13:30~13:35 開会挨拶

(一社)日本医薬品情報学会 理事長 林 昌洋

座長:東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門/東北大学病院 薬剤部 小原 拓

13:35~13:45 医療におけるビッグデータとは(仮)

東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門/東北大学病院 薬剤部 小原 拓

13:45~14:20 講演:「医療機関におけるビッグデータを活用した医薬品情報研究(仮)」

独立行政法人国立病院機構本部総合研究センター 診療情報分析部 今井志乃ぶ

14:20~14:55 講演:「大学におけるビッグデータを活用した医薬品情報研究(仮)」

名城大学 薬学部 酒井隆全

—休憩(14:55~15:10)—

15:10~15:45 講演:「医薬品の安全対策等へのリアルワールドデータ活用に向けた

厚生労働省の最近の取り組み(仮)」

厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課 副作用情報専門官 岩瀬 怜

15:45~16:20 講演:「企業におけるビッグデータを活用した医薬品情報研究(仮)」

MSD 株式会社 グローバル開発研究所 ファーマコビジランス 安全対策部 薬剤疫学課 下寺 稔

16:20~16:50 総合討論

16:50~16:55 まとめ・閉会の挨拶

(一社)日本医薬品情報学会フォーラム委員会 委員長 舟越亮寛

フォーラム参加費: 会員 3,000 円、非会員 5,000 円、学生 1,000 円(当日会場にて)

申込方法:日本医薬品情報学会のホームページよりお申し込みください(<http://www.jasdi.jp/>)。

申し込み締め切り:平成 30 年 11 月 7 日(水)ただし、定員に達した場合は途中で締め切ります。

本フォーラムは、「医薬品情報専門薬剤師」の認定及び更新のため、日本医薬品情報学会が指定する講演会です。本フォーラム 1 回の出席、「受講証明書」をもって認定単位「5 単位」が、また「受講証明書と指定の研修レポートの提出(証明書)」をもって更新認定単位「5 単位」が取得できます。研修レポートの提出など詳細は、JASDI ホームページでご確認下さい。詳細は日本医薬品情報学会のホームページをご確認ください(<http://www.jasdi.jp/>)。

希望者には、公益財団法人日本薬剤師研修センターの「認定薬剤師研修受講シール2単位」または「日病薬病院薬学認定研修単位シール」を配付致します(予定)。